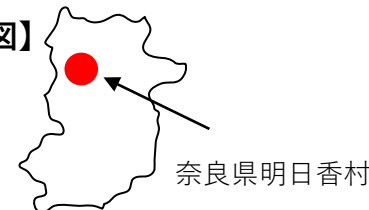


明日香村で就農しよう ～ 働きながら農業を学べる研修

- 明日香村は、多くの歴史的遺産と自然景観が守られた美しい田園風景が残る農村地域である。
- 近年は、農家数の急減により、遊休農地の拡大や有害鳥獣の被害増大等が問題となっている。
- 公社では、これまで農産物の生産・加工・販売及び体験型農業の推進に力をいれてきたが、R3年度からは「農業実習生研修プログラム」により新規就農者の確保を目指しており、R4年度にサポート体制構築事業を活用し、施設野菜の栽培技術を学ぶ研修農場の整備を行った。

【位置図】



取組前

- 近年、農家数、農業従事者数ともに急減し、遊休農地や有害鳥獣の被害も拡大している。
- R3年度より「農業実習生研修プログラム」として研修生を公社で雇用し、3年間の研修を経て独立するプログラムを開始。主に露地野菜の研修を行う。



取組内容

- R4年度は、ビニールハウス等の研修農場を整備し、収益性の高いトマト等の果菜類及び軟弱野菜等の栽培技術の研修を行った。



営農アドバイザーから指導を受ける研修生

取組後(成果)

- 令和6年度に2名、令和7年度に1名が独立自営就農し、令和8年度にも2名が就農予定。
- 現在も計画的に採用を行っている。

【研修雇用人数と就農者数】

年度	採用人数	就農者数
R3	2	0
R4	1	0
R5	0	0
R6	3	2
R7	2	1
R8（予定）	1	2

【サポート体制】

- 明日香村地域振興公社
就農希望者向けに研修を実施。
- 明日香村役場
研修生への補助制度等の紹介、就農後のサポート。
- J Aならけん、県中部農林振興事務所
技術、経営に関すること
- 農業委員会、なら担い手・農地サポートセンター
就農後の農地のあっせんに関すること

新規就農者や研修生の声

- 農業のイメージが家庭菜園であったが、公社の規模をみて驚いた。公社での経験が施設栽培のイメージをつかむことができた。
- 働きながら農業を学べる公社の施策や職員の皆さんの対応に大変感謝している。

サポート体制構築事業 活用年度：令和4年度

【問合せ先】 一般財団法人明日香村地域振興公社

TEL：0744-54-9200

E-mail：info@asukadeasobo.jp

HP：https://www.asukadeasobo.jp/